

科目名(单元名) 解剖生理学Ⅰ 組織・血液・内分泌	配当時期 1年次前期		担当者 今野 雅允	実務経験の有無 無
	単位数 1単位			
	時間数 15時間		実務経験の内容	
テーマと授業目標 私たちの身体が、どのように協調しあって維持されているかを学び、解剖生理学を学ぶための基礎を身につける。				
授業回数	時間	講師	スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	5	今野	人体とはどのようなものか。	講義
2	5	今野	人体の素材としての細胞、組織	講義
3	5	今野	構造と機能から見た人体	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		授業と復習は必ず行っていく 下さい。		
使用図書(テキスト) 図書名： 解剖生理学			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 トートラ 解剖生理学			出版元 丸善	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 解剖生理学Ⅱ 呼吸器系・循環器系	配当時期	1年次前期	担当者	赤松 香奈子	実務経験の有無
	単位数				無
	時間数		1 単位	実務経験の内容	
15時間					
テーマと授業目標 呼吸器系・循環器系(血液を含む)の構成とその機能を習得する。 医療専門職として必要な循環器系・呼吸器系の構造と機能を適切な専門用語を用いて説明できることを目標とする					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	赤松	循環器の構成		講義
2	2	赤松	心臓の構成		講義
3	2	赤松	心臓の拍出機能		講義
4	2	赤松	末梢循環系の構造		講義
5	2	赤松	血液の循環調節、リンパとリンパ管		講義
6	2	赤松	呼吸器の構造(鼻腔～気道)		講義
7	2	赤松	呼吸器の構造(肺、胸郭)		講義
8	1	赤松	呼吸生理学		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験			
受講上の注意		配布資料を必ず持参し、講義を受講すること。 教科書を熟読し、予習・復習に励むこと。			
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名:					
解剖生理学 人体の構造と機能1			医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
イラスト解剖学			中外医学社		
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ					
その他()					

科目名(单元名) 解剖生理学Ⅲ 消化器系	配当時期 1年次前期		担当者 赤松 香奈子		実務経験の有無
	単位数 1 単位				無
	時間数 15時間		実務経験の内容		
テーマと授業目標 消化器系の形態構造とその機能について習得する。 医療専門職として必要な消化器系の構造と機能を 適切な専門用語を用いて説明できることを目標とする					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	赤松	消化器系の全体像、機能		講義
2	2	赤松	口腔(歯・舌・唾液腺・咽頭)		講義
3	2	赤松	食道、胃		講義
4	2	赤松	小腸(十二指腸、空腸、回腸)		講義
5	2	赤松	大腸(盲腸、結腸、直腸、肛門)		講義
6	2	赤松	付属器官(膵臓、肝臓、胆嚢)、腹膜		講義
7	2	赤松	消化と吸収		講義
8	1	赤松	消化器系の血管分布と神経		講義
9					講義
10					講義
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（100点）			
受講上の注意		・ 配布資料を必ず持参し、講義を受講すること ・ 教科書を熟読し、予習、復習に励むこと			
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名： 解剖生理学 人体の構造と機能1			医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
図書名 イラスト解剖学			中外医学社		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅳ 骨と筋肉・関節の仕組み	配当時期 1年次前期		担当者 赤松 香奈子	実務経験の有無 無
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間	実務経験の内容		
テーマと授業目標 ・からだの指示と運動を担う運動系について、骨、筋の名称を正しく習得する ・また、これらの形態構造や機能を関連付けて理解し、説明できることを目標とする				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	赤松	骨の構造と機能	講義
2	2	赤松	筋の構造と機能	講義
3	2	赤松	体幹の骨と筋	講義
4	4	赤松	上肢の骨と筋	講義
5	4	赤松	下肢の骨と筋	講義
6	1	赤松	頭部の骨と筋	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		難解な漢字が多く、覚えることが多い講義になるので、各自、よく教科書などを読み、予習、復習につとめること		
使用図書（テキスト） 図書名：解剖生理学 人体の構造と機能1			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 イラスト解剖学			出版元 中外医学社	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅳ 骨と筋肉・関節の仕組み	配当時期	1年次前期	担当者	赤松 香奈子	実務経験の有無
	単位数	1 単位			無
	時間数	15時間	実務経験の内容		
テーマと授業目標					
神経系(自律神経系・感覚器を含む)の構成と生理を習得する。 医療専門職として必要な循環器系・呼吸器系の構造と機能を 適切な専門用語を用いて説明できることを目標とする					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	赤松	神経系の構造と機能		講義
2	2	赤松	中枢神経(脊髄・脳)		講義
3	2	赤松	脳神経、骨髄神経、自律神経		講義
4	2	赤松	上行性伝導路と下行性伝導路		講義
5	2	赤松	上行伝導路と下行伝導路		講義
6	2	赤松	眼の構造と聴覚		講義
7	2	赤松	耳の構造と聴覚、平衡感覚		講義
8	2	赤松	味覚と嗅覚		講義
9	1	赤松	皮膚感覚		講義
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験			
受講上の注意		・ 配布資料を必ず持参し、講義を受講すること ・ 教科書を熟読し、予習、復習に励むこと			
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名:					
解剖生理学 人体の構造と機能1			医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
イラスト解剖学			中外医学社		
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 ()					

科目名(単元名) 解剖生理学Ⅵ 泌尿器 生殖器系	配当時期 1年次前期	担当者 赤松 香奈子		実務経験の有無 無
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間	実務経験の内容		
テーマと授業目標				
・泌尿器および生殖器系の形態構造と機能について習得する ・また、関連器官と合わせて理解し、説明できることを目標とする。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	赤松	腎臓	講義
2	2	赤松	尿路	講義
3	2	赤松	膀胱	講義
4	2	赤松	尿の生成と体液調整	講義
5	2	赤松	男性生殖器	講義
6	2	赤松	女性生殖器	講義
7	2	赤松	性周期、性差、生殖器の発生	講義
8	1	赤松	受精、妊娠	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		・配布資料を必ず持参すること ・教科書をよく読み、理解を深めること		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：				
①人体の構造と機能「解剖生理学」		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
イラスト解剖学		中外医学社		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(单元名) 病理学	配当時期	1年次前期	単位数 1 単位	担当者 藤岡 正喜	実務経験の有無 有
	時間数				
					病理解剖、実験病理学
テーマと授業目標					
・ヒトが疾患に罹患する原因とその機序を総論的に学ぶ					
・病態別(先天異常、代謝障害、循環障害、炎症、免疫、感染症、腫瘍、老化、死)に整理された知識を得る					
・病理学各論として、病理学総論で学んだ知識を基に、各疾患における形態、機能や代謝の変化が理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	4	藤岡	病因論(内因・外因の概念)、疾病の分類 細胞組織の障害と修復		講義
2	4	藤岡	代謝障害、循環障害		講義
3	4	藤岡	炎症、感染症、免疫異常		講義
4	4	藤岡	腫瘍、先天異常		講義
5	4	藤岡	老化/死		講義
6	4	藤岡	各論Ⅰ：循環器系、呼吸器系、消化器系①上部消化管		講義
7	4	藤岡	各論Ⅱ：消化器系②下部消化管、肝臓、胆道、膵臓		講義
8	2	藤岡	各論Ⅲ：消化器系、生殖器系、内分泌系、その他		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法			終講試験		
受講上の注意			予習(教科書を事前に読んでおく)は必ず行うようにしてください。 ・質問は大歓迎なので、遠慮なく質問してください		
使用図書(テキスト)			出版元		
図書名： 病理学・病態生理学			医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元		
図書名					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・ネット等					
その他()					

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅰ	配当時期 1年次前期	担当者	原田 尚憲	実務経験の有無
	単位数 1単位 (30時間中)			有
	時間数 12時間	実務経験の内容	医師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
1.造血と血球成分の仕組みを修得する 2.血液型、止血、輸血について修得する 3.血液疾患について総論、各論を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	原田	血液の機能 造血の仕組み 検査について	講義
2	2	原田	検査について 治療総論	講義
3	2	原田	白血病	講義
4	2	原田	悪性リンパ腫	講義
5	2	原田	血小板 凝固系	講義
6	2	原田	血液・造血器疾患まとめ 国家試験 過去問	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（40点／100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅰ (アレルギー・膠原病・感染症)	配当時期 1年次後期	担当者 三島 隆一郎	実務 経験の 内容	実務経験の 有無
	単位数 1単位 (30時間中) 時間数 18時間			有
	テーマと授業目標			
・アレルギー、膠原病についての基礎知識を学ぶ ・両社における主な疾患、検査、治療法を学び、臨床看護において必要とされる知識を身につける。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	三島	免疫のしくみ①	講義
2	2	三島	免疫のしくみ②	講義
3	2	三島	免疫のしくみ③	講義
4	2	三島	アレルギー①	講義
5	2	三島	アレルギー②	講義
6	2	三島	膠原病①	講義
7	2	三島	膠原病②	講義
8	2	三島	感染症①	講義
9	2	三島	感染症②	講義
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(60点/100点)		
受講上の注意		・テキストに沿って授業を進めていくので、各授業で勉強する内容は授業中に理解するように心がけてください ・授業ではPowerPointも使用しますが、まとめのプリント配布しますので、復習に使ってください		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野 成人看護学Ⅱ アレルギー 膠原病 感染症		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅱ 呼吸器	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者	栗原　みな子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
助産師として病院に勤務				
テーマと授業目標				
呼吸器の解剖学的位置や生理的機能を学ぶ。 呼吸器に障害が発生したときの、疾患について学ぶ 各疾患ごとに、治療法を学ぶ。また日常生活上の注意点を言える。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	栗原	呼吸器患者の特徴と看護の役割　呼吸器の構造と機能(1)	講義
2	2	栗原	呼吸器の構造と機能(2)	講義
3	2	栗原	なぜ酸素を吸い二酸化炭素を吐くのか	講義
4	2	栗原	呼吸とは	講義
5	2	栗原	換気運動について	講義
6	2	栗原	自然呼吸と人工呼吸の違い	講義
7	2	栗原	酸素療法について	講義
8	2	栗原	ガス交換について	講義
9	2	栗原	ガス交換障害	講義
10	2	栗原	酸塩基平均と動脈血液ガス分析	講義
11	2	栗原	呼吸機能検査について	講義
12	2	栗原	%肺活量　1秒率の理解	講義
13	2	栗原	気管支喘息	講義
14	2	栗原	感染症とは	講義
15	2	栗原	フィジカルアセスメント	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座		医学書院		
呼吸器		出版元		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）				
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント)　・OHP　・ビデオ　・スライド　・CD　・カセットテープ				
その他（				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅲ 循環器	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者	西川 香織	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
病院にて看護師として勤務				
テーマと授業目標 ・循環器領域でのフィジカルアセスメント ・疾患の基本的な知識を身につける				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	西川	・座学：フィジカルアセスメントについて	講義
2	2	西川	各症状に応じたグループワークでの検討	講義・演習
3	4	西川	・実践：人形を用いた心肺蘇生	講義・演習
4	2	西川	学生同士でのフィジカルアセスメント	講義・演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名)	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 20時間	担当者	新坂 幸大	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
臨床病態学Ⅲ 循環器			看護師として、病院に勤務	
テーマと授業目標				
1.心臓、脈管の構造機能の理解 2.循環器疾患の病態の理解 3.循環器疾患の診断・検査・治療の理解				
授業回数	時間	講師	シジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	4	新坂	循環器 解剖・生理 心臓の構造と機能 心電図・心周期・体循環・肺循環	講義
2	4	新坂	虚血性心疾患 不整脈	講義
3	4	新坂	弁膜症 ファロー四徴症	講義
4	4	新坂	心不全 大動脈解離	講義
5	4	新坂	下肢静脈瘤 深部静脈血栓症 肺血栓感染症	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学③ 循環器			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅳ 消化器内科	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者	松村 治雄	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
40年以上医学基礎研究を行う				
テーマと授業目標				
・消化器系臓器の基本的理解 ・消化器系疾患の診断、検査、治療の流れの理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	松村	食道の機能と疾患	講義
2	3	松村	胃・十二指腸の機能と疾患	講義
3	2	松村	小腸・大腸の機能と疾患	講義
4	2	松村	肝臓の機能と疾患	講義
5	2	松村	胆道系の機能と疾患	講義
6	2	松村	膵臓の機能と疾患	講義
7	2	松村	消化器系症状に対する対応	講義
8			各臓器別に解剖と働き、疾患、それに対する検査、治療を講義していきます。	
9			症状形式として具体例をあげていきますので、それぞれを理解するよう心がけてください。	
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(50点/100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 出版元				
図書名: 専門Ⅱ 成人看護学(5)消化器 医学書院				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 出版元				
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅳ 消化器外科		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者	田中 浩明	実務経験の有無
			実務経験の内容		有
テーマと授業目標					
・消化器外科疾患について					
・消化器がんの治療について					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	田中	外科看護総論Ⅰ		講義
2	2	田中	外科看護総論Ⅱ		講義
3	2	田中	外科看護総論Ⅲ		講義
4	2	田中	外科看護各論1		講義
5	2	田中	外科看護各論2		講義
6	2	田中	外科看護各論3		講義
7	2	田中	外科看護各論4		講義
8	1	田中	問題演習		講義
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(50点/100点)			
受講上の注意					
使用図書(テキスト) 図書名: 消化器 臨床外科看護総論・各論 出版元 医学書院 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 出版元 医学書院					
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()					

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅴ 脳神経	配当時期 1年次後期	担当者	実務経験の有無	実務経験内容 有
	単位数 1 単位 (30時間)	成瀬 裕恒	有	医師として、病院に勤務
	時間数 16時間	伊藤 和博	有	医師として、病院に勤務
テーマと授業目標				
・解剖学の基礎知識に元好き、障害された部位による疾患の体系的な分類及び障害の原因による分類を学ぶ。 ・看護実践に活かしていけるように、各疾患の病態や疾患の特徴、症状、治療法、予後などを学ぶ。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	成瀬	脳神経の看護を学ぶにあたって 脳神経の構造と機能	講義
2	2	伊藤	症状とその病態生理	講義
3	2	成瀬	検査・診断と治療・処置	講義
4	2	成瀬	疾患の理解① 脳・脊髄血管障害、脳・脊髄腫瘍、脊椎・脊髄疾患	講義
5	2	成瀬	疾患の理解② 頭部外傷、水頭症、頭痛、末梢神経疾患(ニューロパチー、神経痛、顔面神経麻痺、顔面痙攣)てんかん、脳腫瘍	講義
6	2	伊藤	疾患の理解③ 脊髄炎症性疾患、末梢神経疾患(糖尿病性・アルコール性ニューロパチー、多発ニューロパチー)筋疾患・神経接合部疾患・脱髄・変形疾患、認知症、脳・神経系感染症、中毒 内科系疾患に伴う神経疾患	講義
			患者の看護① 疾患(変性・炎症性疾患)をもつ患者の看護 事例による看護過程の展開：①パーキンソン病患者の看護	
7	2	成瀬	患者の看護② 疾患をもつ患者の経過と看護 事例による看護過程の展開：②CASを受ける患者の看護	講義
8	2	成瀬	患者の看護③ 疾患をもつ患者の看護 事例による看護過程の展開：②CASを受ける患者の看護	講義
評価方法		成瀬 筆記試験 (40点／100点) 筆記試験 (13点／100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名：専門Ⅱ 成人看護学(7)脳・神経 別巻2 臨床外科看護各論			医学書院 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント・OHP・ビデオ・スライド・CD・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅴ 運動器	配当時期 1年次後期 単位数 1単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者	松村 治雄	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
・四肢及び脊椎疾患の病態と治療について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	松村	運動器疾患の総論 四肢の機能障害の理解	講義
2	2	松村	運動器疾患の総論 保存的治療法の理解	講義
3	2	松村	運動器疾患の総論 手術的治療法の理解	講義
4	2	松村	運動器疾患の各論 外傷性疾患(骨折、脱臼など)の理解	講義
5	2	松村	運動器疾患の各論 先天性疾患(筋性斜頸、先天性股関節脱臼、先天性内反足)の理解	講義
6	2	松村	運動器疾患の各論 関節疾患(変形性関節症、関節リウマチなど)の理解	講義
7	2	松村	運動器疾患の各論 脊髄疾患(腰部椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症など)の理解	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(47点／100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)				
図書名: 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学⑩(運動器)			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)				
図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅵ (眼疾患)	配当時期 1年次後期		担当者 三島 壮一郎	実務経験の有無 有
	単位数 1単位(30時間)	時間数 6時間		
			実務経験の内容	医師として、病院に勤務
テーマと授業目標 ・感覚器系の傷害の病態生理・検査・治療を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	三島	白内障・屈折異常	講義
2	2	三島	緑内障 角膜、結膜疾患	講義
3	2	三島	網膜硝子体疾患	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法			筆記試験(20点/100点)	
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 出版元 図書名: 専門分野Ⅱ 「眼」 成人看護学13 医学書院 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 出版元 図書名 使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ (OHP) ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅵ 耳鼻咽喉疾患	配当時期 1年次後期 単位数 1単位 (30時間) 時間数 8 時間	担当者	清水 智之	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
・感覚器系障害の病態生理・検査・治療を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	清水	症状と病態生理	講義
2	2	清水	検査	講義
3	2	清水	疾患の理解(治療を含む)	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（27点／100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座専門分野Ⅱ 「耳鼻咽喉」成人看護学14		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅵ 皮膚科疾患	配当時期 1年次後期 単位数 1単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者	栗原 みな子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
助産師として病院に勤務				
テーマと授業目標				
・皮膚という1つの臓器に着目し、皮膚科の見方・考え方に触れ、特に頻度の高い皮膚科疾患や、看護において重要な疾患を知り習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	栗原	皮膚の構造	講義
2	2	栗原	皮膚の機能	講義
3	2	栗原	皮膚の機能 疾患	講義
4	2	栗原	皮膚の疾患 まとめ	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（27点／100点）		
受講上の注意		・テキストで予習しておくこと		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名看護学(12) 皮膚		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅵ (歯疾患)	配当時期 1年次後期 単位数 1単位 (30時間) 時間数 8時間	担当者	長谷川 貴史	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
テーマと授業目標				
・歯・口腔の構造と機能の理解および歯・口腔の病態を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	長谷川	歯・口腔の構造と機能について学び、歯・口腔疾患との関係を理解する。	講義
2	2	長谷川	歯・口腔疾患に伴う障害の症状と発生機序及び病態生理について理解する。	講義
3	2	長谷川	歯・口腔疾患の病態生理を理解し、看護を行う上で必要な基礎知識を習得する。	講義
4	2	長谷川	口腔ケアの目的と必要性について理解する。	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (26点／100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト)		出版元		
図書義人看護学15 歯・口腔				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(マイク、ポインター)				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅶ 女性器疾患	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 8/30時間	担当者	中川 倫子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
テーマと授業目標				
1)女性生殖器の構造と機能 2)女性生殖器疾患の症状と病態生理、診察・検査と処置 3)女性生殖器疾患・性感染症の理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中川	女性生殖器の構造と機能 症状とその病態生理 ・女性生殖器の構造と機能を理解する。 ・性分化と性腺の発育を理解する。 ・性周期を調整する性ホルモンの動態を理解する。 ・卵子の形成から受精着床にいたる妊娠成立過程を理解する。	講義
2	2	中川	女性生殖器の診察・検査と治療・処置 ・診察・検査の方法、器具について理解する。 ・検査の意義・適応を理解する。	講義
3・4	2	中川	女性生殖器の疾患理解 ・性分化疾患を知る。 ・各臓器(外陰・膣・子宮・卵管・卵巣・乳房)の疾患を理解する。 ・機能性疾患(月経異常・更年期障害・不妊症・不育症)を理解する。 ・性感染症の症状と病態・治療法を理解する。	講義
評価方法		筆記試験(27点/100点)		
受講上の注意		・女性生殖器疾患特有の症状・病態生理を理解する		
使用図書(テキスト) 出版元 図書名:系統看護学講座 専門Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 医学書院 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 出版元 図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 臨床病態学Ⅶ (腎・泌尿器疾患)	配当時期 1年次後期	担当者	藤田 晃輝 和田埜 陽平 矢野 友博 鶴島 宏祐 (試験のみ)	実務経験 の有無
	単位数 1単位 (30時間)	実務 経験の 内容	3名ともに、医師として病院に勤務	あり
	時間数 12時間			
テーマと授業目標				
1.生命の維持に必須の役割を担う腎・泌尿器にしくみと働きを男性生殖器と併わせて学習する 2.症状の発生する原因、その病態生理を学び、原疾患との関連を理解して「患者の看護」につながるように基礎を学習する 3.主要疾患の基本的な知識(原因・症状・治療)を学習する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤田	腎・泌尿器の構造と機能	講義
2	2	和田埜	腎・泌尿器 症状・病態生理	講義
3	2	矢野	検査 処置 治療	講義
4	2	藤田	腎疾患の治療と処置	講義
5	2	矢野	尿路 性器の感染症	講義
6	2	和田埜	疾患の理解	講義
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(40点/100点)		
受講上の注意		・教科書の流れに沿った授業進行ではないので、授業予定を把握して授業に臨んでください ・生命維持に関わる重要な機能を持つ腎・泌尿器です。教科書をきちんと読んで理解に勤めましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名:成人看護学 腎泌尿器疾患患者の看護		医学書院		
解剖生理学				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 病理学		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・ネット等				
その他()				

科目名(单元名) 臨床病態学Ⅶ 内分泌	配当時期 1年次後期 単位数 1単位（30時間） 時間数 10時間	担当者	新坂 幸大	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
テーマと授業目標				
・代謝の整理と病態および、その疾患と理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	新坂	甲状腺機能亢進症 肥満症 メタボリックシンドローム	講義
2	4	新坂	糖尿病（病態）	講義
3	2	新坂	糖尿病（治療）	講義
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（33点／100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 内分泌・代謝		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・（スライド） ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目名(单元名)	配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者	今野 雅允	実務経験の有無
		実務経験の内容		無
生化学				
テーマと授業目標				
・人体の構成成分である化学物質の構造・機能・性質・代謝を学び、生命現象の仕組みを理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	今野	細胞と生体成分	講義
2	2	今野	タンパク質の性質	講義
3	2	今野	酵素の性質と働き	講義
4	2	今野	生体内における糖質の役割	講義
5	2	今野	生体内における脂質の代謝	講義
6	2	今野	生体内におけるアミノ酸及びタンパク質の代謝	講義
7	2	今野	生体内における核酸の役割	講義
8	2	今野	体液	講義
9	2	今野	ホルモン	講義
10	2	今野	ビタミン	講義
11	2	今野	恒常性	講義
12	2	今野	消化、吸収と栄養面	講義
13	2	今野	血液	講義
14	2	今野	尿	講義
15	2	今野	免疫 各臓器の役割	講義
評価方法		筆記試験		
受講上の注意		予習、復習は必ず行ってください 質問は大歓迎です		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名： わかりやすい生化学		ヌーベルヒロカワ		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 (				

科目名(单元名)	配当時期 1年次前期	担当者	三島 隆一郎	実務経験の有無
	単位数 1 単位			有無
微生物学	時間数 15時間	実務 経験の 内容	医学博士・薬剤師・講師経験あり	
テーマと授業目標 ・看護学を学ぶ学生として最低限必要な微生物に関する知識を習得し、上級学年に進級後あるいは臨床の場で微生物に関わる疑問が生じたときに必要に応じて教科書、専門書、論文などを参照して理解できることを目指す				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	三島	微生物の概要 微生物と呼ばれる生物群の生物学的な位置を学び、我々と微生物の関わりについて考える。	講義
2～5	8	三島	微生物の種類 細菌・真菌・原虫・ウイルスおよびプリオンについて形態や特徴を知り、病原体としてヒトに及ぼす影響を学ぶ。	講義
6	3	三島	微生物の増殖と滅菌・消毒	講義
7	2	三島	化学療法と薬剤耐性微生物 感染症の治療に用いる薬剤と、その使用による耐性微生物出現について考える。	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		微生物シラバスを参考に、教科書を予読		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名： 系統看護学講座 微生物学		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他（ DVD ）				

科目名(单元名)	配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者	川崎 奈美江	実務経験の有無
		実務 経験の 内容	病院薬剤師	
テーマと授業目標				
【学習目標】 薬理学とは、生体における薬物の作用を理解する学問です。薬物は献上的には不要な物質で、病態的に生体をできるだけ健常状態に回復させるために用います。授業では薬物の種類、作用、副作用を中心にテキスト及びパワーポイント、プリントを用いて説明していきます。薬理学総論を3回行った後、各論に入ります。少しでもわかりやすく、また興味を得られるよう、臨床現場での実例を支えながらお話していきます。各授業の終わりに、過去に看護師国家試験で出題された問題を取り上げ、解説します。 国家試験を解答できるレベルに到達することが最低限の目標です。その上で、臨床現場でも使える知識を身につけていただけたらと考えています。				
【学習目標】 1、薬物の生体に対する作用を系統的に学習し、健常的及び病態時の生体機能について理解する 2、様々な薬物が病態を健常状態に回復させるメカニズムを理解する 3、以上の学習をもとに臨床で用いられる主要な薬物の作用(主作用、副作用)メカニズム、体内動態などの概要を把握する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	川崎	薬理学総論1, 2	講義
2	2	川崎	薬理学総論2, 3	講義
3	2	川崎	薬理学総論3 末梢神経 1	講義
4	2	川崎	末梢神経 2 中枢神経 1	講義
5	2	川崎	中枢神経 1 中枢神経 2	講義
6	2	川崎	心・血管系作用薬1、2	講義
7	2	川崎	心・血管系作用薬2 感染症薬	講義
8	2	川崎	抗がん剤	講義
9	2	川崎	抗がん剤 血液に作用する薬	講義
10	2	川崎	血液に作用する薬	講義
11	2	川崎	代謝系薬剤	講義
12	2	川崎	代謝系薬剤	講義
13	2	川崎	抗炎症薬 免疫抑制薬	講義
14	2	川崎	抗炎症薬 免疫抑制薬 アレルギー薬	講義
15	2	川崎	抗炎症薬 免疫抑制薬 医療安全	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 薬理学				
			出版元	医学書院
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 かみくだき薬理学				
			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 栄養学	配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者	藤川 喜久子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
病院、人間ドッグ等での栄養指導				
テーマと授業目標 健康の保持・増進・疾病の予防、治療における栄養素の役割を理解し、栄養素の代謝およびエネルギーなどの生理的意義を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藤川	第1章 人間栄養学と看護	講義
2	2	藤川	第2章 栄養素の種類とはたらき	講義
3	2	藤川	第3章 食物の消化と栄養素の吸収・代謝	講義
4	2	藤川	第4章 エネルギーと代謝 第5章 食事と食品	講義
5	2	藤川	第6章 栄養ケア・マネジメント 第7章 栄養状態の評価・	講義
6	2	藤川	第8章 ライフステージと栄養	講義
7	2	藤川	第9章 臨床栄養	講義
8	1	藤川	糖尿病食品交換表の使いかた	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		一回の授業でかなりの範囲を学ぶため、十分注意して聞いてほしい。		
使用図書（テキスト） 図書名：栄養学 糖尿病食事療法のための食品交換表 出版元 医学書院 文光堂				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 生化学、生理学、解剖学などの教科書 出版元				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他 (DVD)				

科目名(单元名) 精神医学	配当時期 2 年次前期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者	利田 泰之	実務経験の有無
		実務 経験の 内容		有
医師として病院勤務				
テーマと授業目標				
精神看護学や精神症状および障害、精神に関わる法律、制度について				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	利田	精神疾患のあらわれ方 ①思考の障害②感情の障害③意欲の障害 精神症状論と状態像 様々な精神症状	講義
2	2	利田	意識の障害 知覚の障害 記憶の障害	講義
3	2	利田	局所症状：失語・失行・失認 診断と疾病分類 統合失調症	講義
4	2	利田	統合失調症の治療 気分障害	講義
5	2	利田	神経症性障害 ストレス関連障害 生理的障害、身体的要因に関連した行動症候群	講義
6	2	利田	性同一性障害・パーソナリティ障害 器質性精神障害の認知症 症状精神病	講義
7	2	利田	精神作用物質使用による精神および行動障害 各発達段階で表れやすい精神障害 心的不安	講義
8	1	利田	発達障害 パーソナリティ障害 周産期にあらわれやすい心的不調	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト）				
図書名：精神看護の基礎 精神看護学①			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）				
図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 公衆衛生学 I	配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者	北村 佐恵子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
保健師				
テーマと授業目標				
臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して公衆衛生は集団の健康を対象とする。人々が疾病を予防し、健康を維持増進するためには、仕組みや環境が必要である。視点を個人から、集団、組織、地域社会、国、世界へと広げ、公衆衛生の基礎を学ぶ。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	北村	公衆衛生の概念と歴史	講義
2	2	北村	公衆衛生の活動対象	講義
3	2	北村	公衆衛生の仕組み	講義
4	2	北村	集団の健康をとらえるための手法 疫学 保健統計	講義
5	2	北村	環境と健康	講義
6	2	北村	感染症とその予防策	講義
7	2	北村	国際保健	講義
8	1	北村	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		授業中は私語をしない スマホの使用は禁止する		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門基礎分野「公衆衛生」 健康支援と社会保障制度②		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名 国民衛生の動向 厚生指の指標 公衆衛生が見える		一般財団厚生労働統計協会 メディック メディア		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ネットワーク				
その他 ()				

科目名(单元名) 公衆衛生学Ⅱ	配当時期 2 年次後期		担当者 北村 佐恵子	実務経験の有無 有
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間	実務 経験の 内容	保健師	
テーマと授業目標 臨床医学が個人の疾病を対象とするのに対して公衆衛生は集団の健康を対象とする。人々が疾病を予防し、健康を維持増進するためには、仕組みや環境が必要である。視点を個人から、集団、組織、地域社会、国、世界へと広げ、公衆衛生の基礎を学ぶ。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	北村	地域における公衆衛生の実践 A：公衆衛生看護とは	講義
2	2	北村	B：母子保健 C：成人保健	講義
3	2	北村	D：高齢者保健 E：精神保健	講義
4	2	北村	F：歯科保健 G：障がい者保健 難病保健	講義
5	2	北村	学校と健康 A:学校における健 B:学校保健の展開 C:特別な支援を必要とする子どもたち	講義
6	2	北村	職場と健康 A：職場における健 B:職場における健康をまも C:産業保健活動の展開 C:産業保健における今後の課題とあらたな動き	講義
7	2	北村	健康危機管理・災 A:健康危機管理 B:災害保険	講義
8	1	北村	公衆衛生Ⅱのまとめ	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意		授業中は私語をしない スマホの使用は禁止する		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門基礎分野「公衆衛生」 健康支援と社会保障制度②		医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名 国民衛生の動向 厚生 の指標 公衆衛生が見える		一般財団厚生労働統計協会 メディック メディア		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 社会福祉Ⅰ	配当時期 2年次前期	担当者 和田 光徳	実務 経験の 内容	実務経験の有無
	単位数 1単位			有
	時間数 15時間		大学教授として研究指導	
テーマと授業目標 1.社会保障・社会福祉制度についての基礎的知識を習得する 2.病にある人と、その家族に対する生活支援仮定(社会福祉支援仮定)を通じて、福祉の統合的視点を深める 3.看護展開における社会的支援のための基本知識を習得する 4.国家試験に対応する知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	和田	1. 社会福祉と社会保 障 社会福祉の歴史を概観しながら、“社会福祉”という言葉の意味を考察し、“共に生きる”という社会の中での、支援の普遍性と時代に応じた”救済”方法としての「社会保証制度」の体制を概観する。	講義
2	2	和田	2. 社会福祉の法制度・社会福祉援助(ソーシャルワーカー)の視点 実体概念としての社会福祉制度の歴史的変遷と、現代社会における視点を提示する。その上で、社会福祉サービスが具体的に提供されるための構造・機能を学ぶ。	講義
3	2	和田	3. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 人口変化、経済的変化、グローバル化など、“stunning sift(気絶するような変化)”と形容される現代社会の変化と、それらが現実の社会事象としてどのように現れ、生活問題となるか考察する。	講義
4	2	和田	4. 医療保障1 保障制度の歴史と制度の構造・体系と、国民医療費の問題、我が国の医療保障制度の特徴を概観する。社会保険方式による健康保険制度の概要、各種サービスと具体的な費用負担から現代のセーフティーネットを体感する。	講義
5	2	和田	5. 医療保障2 ”新たな高齢者医療の確保”についての施策の流れ、後期高齢者医療制度の概要。慢性期医療と地域医療連携(療養継続場所の確保という生活問題)を考える。公費負担医療の種類と手続き。	講義
6	2	和田	6. 所得保障1 所得補償制度の仕組みと各種年金制度	講義
7	3	和田	7. 所得保障2 社会手当、労働保険制度(雇用保険・労働者災害補償制度)	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意				
使用図書(テキスト) 出版元 図書名: 専門基礎分野 「社会保障・社会福祉」 医学書院 健康支援と社会保障制度③ 参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 出版元 図書名				
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(DVD)				

科目名(单元名) 社会福祉Ⅱ	配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 15時間	担当者	和田 光徳	実務経験の有無
		実務 経験の 内容	大学教授として研究指導	
テーマと授業目標				
1.介護保険、公的扶助、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉の各分野の実態と課題の理解 2.医療分野における社会福祉援助の理解 3.多職種連携の実際と重要性の理解				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	和田	1. 介護保険制度 介護保険成立の経緯や現在の制度の概要 今後の課題と展望	講義
2	4	和田	2. 公的扶助 生活保護制度を中心に現代社会における貧困や低所得問題に対する公的秩序について、生活保護制度の内容、これまでの変遷、制度適用の実態と動向	講義
3	4	和田	社会福祉の分野とサービス 高齢者福祉、障害者福祉、児童家庭福祉の各実態ち課題、それに対する施策の展開	講義
4	3	和田	社会福祉実践と医療・看護 医療現場、地域社会など多様な現場で展開される社会福祉実践の共通基盤としての援助 医療・看護と社会福祉との関連、看護師・医師・ソーシャルワーカー等の職種間連携	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
受講上の注意				
使用図書（テキスト） 図書名：専門基礎分野 「社会保障・社会福祉」 健康支援と社会保障制度③ 参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 出版元 医学書院 出版元				
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(单元名) 関係法規Ⅰ	配当時期 2年次後期 単位数 1単位(15時間) 時間数 15時間	担当者	森下 幸子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
テーマと授業目標				
保健医療福祉に関する諸制度の概要と、それを規定とする諸法令を理解し、看護に関連付けて理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森下	保健師助産師看護師法について	講義
2	2	森下	保健師助産師看護師法について	講義
3	2	森下	医事法・医療法	講義
4	2	森下	医療法 臨床検査技師な等に関する法律	講義
5	2	森下	保健衛生法	講義
6	2	森下	保健衛生法	講義
7	2	森下	保健衛生法・薬務法	講義
8	1	森下	薬務法	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		教科書中心に授業を行います		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門基礎分野 「看護関係法令」			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 関係法規Ⅱ	配当時期 3年次前期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者	森下 幸子	実務経験の有無
		実務経験の内容		有
看護師として勤務				
テーマと授業目標				
・法に関する用語の知識を身につける ・法令の意義を看護や日常生活に関連付けて理解できる ・法令を通して社会に求められている医療・看護がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森下	第1章 法の概念 看護関係法令 (健康支援と社会保障制度④)	講義
2	2	森下	第4章 環境衛生法(営業・環境整備) (健康支援と社会保障制度④)	講義
3	2	森下	第6章 社会保険法(費用保障・年金・手当) (健康支援と社会保障制度④)	講義
4	2	森下	第7章 福祉法(福祉の基盤・児童分野) (健康支援と社会保障制度④)	講義
5	2	森下	第7章 福祉法(高齢分野) (健康支援と社会保障制度④)	講義
6	2	森下	第7章 福祉法(障害分野) (健康支援と社会保障制度④)	講義
7	2	森下	第8章 労働法と社会基盤準備 (健康支援と社会保障制度④)	講義
8	1	森下	第9章 環境法(環境保全 公害防止 自然保護) (健康支援と社会保障制度④)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
受講上の注意		国家試験に出題された問題を参考にしながら、要点を押さえていきます。要点を確実に覚えていきましょう		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門基礎分野 「看護関係法令」		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				